

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書（その1）（単位：千円）

政策目標		2	主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街					
重点課題		1	市民の主体的な地域づくりの支援					
施策番号	事業名	計画事業費	実績事業費				合計	進捗率(%)
			19年度(決算)	20年度(決算)	21年度(予算)	22年度(予算)		
<p>札幌市自治基本条例の下、市民が主体的に考え、行動できる街を目指し、まちづくりセンターを拠点として、まちづくり活動の機会の充実や、まちづくりに必要な情報の積極的な提供、まちづくり活動を行う団体間の連携の促進などを行うとともに、町内会活動やボランティア活動などの市民活動を一層応援し、市民が主役のまちづくりを進めます。また、市民自治の実践として、まちづくりセンターの地域による自主運営化や雪対策の推進など、市民の主体的な活力あふれる地域づくりを支援します。</p> <p style="text-align: center;">計画事業の実施状況</p>								
1	まちづくりセンター地域自主運営化推進		0	7,079	40,500		47,579	-
1	地域特性に応じた土地利用の再構築事業【再掲】	50,000	6,593	10,304	10,000		26,897	53.8
1	地域と創る冬みち事業	453,000	128,000	99,389	72,000		299,389	66.1
1	協働による冬期歩行環境の改善		13,510	19,349	20,000		52,859	-
2	区民協議会設置・運営事業	32,000	4,662	3,017	1,000		8,679	27.1
2	大学と地域の連携による都市再生の推進	23,000	2,730	4,050	4,000		10,780	46.9
2	大学や学生との連携による地域づくりの促進	42,000	7,672	18,702	16,158		42,532	101.3
3	市民まちづくり活動促進総合事業	40,000	1,434	38,575	47,000		87,009	217.5
3	都心再生協働事業【再掲】	74,000	17,086	16,654	17,479		51,219	69.2
3	市民との協働による都市計画制度の普及【再掲】	12,000	2,748	1,605	3,000		7,353	61.3
3	区民とつくる地区センターモデル事業(里塚・美しが丘地区センター建設)	505,000	495,275	0	0		495,275	98.1
3	地域の縁結び事業	43,000	12,746	17,857	21,430		52,033	121
3	子どものまちづくりへの参加促進事業	40,000	8,313	11,563	23,903		43,779	109.4
3	さっぽろ元気NPOサポートローン	35,000	966	4,596	6,098		11,660	33.3
3	札幌市アイヌ施策推進計画策定【再掲】	10,000	0	691	3,500		4,191	41.9
3	福祉のまち推進事業【再掲】		80,988	83,292	88,970		253,250	-
3	わたしたちの児童会館づくり事業【再掲】	4,000	1,001	1,000	1,000		3,001	75
3	さっぽろ市民カレッジによる人材育成の推進		16,409	15,851	19,211		51,471	-
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
							0	
合計（計画事業費が「-」の事業は除く）		1,363,000	689,226	228,003	226,568		1,143,797	83.9

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その3)

政策目標	2	主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街	
重点課題	1	市民の主体的な地域づくりの支援	
主 な 取 組 内 容			
施策1	市民自治の実践による地域づくりの推進		
19年度(実績)		20年度(実績)	
<p>まちづくりセンター地域自主運営化(以下「まちセン」)の推進に向け、地域代表や有識者等で構成するアドバイザー会議での検討や地域説明を実施。</p> <p>土地利用の再構築事業(以下「再構築」)として、もみじ台地域でまちづくり会議と協働による検討(勉強会、ワークショップ)を行うとともに真駒内地域の現況調査を実施。</p> <p>地域と創る冬みち事業(以下「冬みち」)では、新規町内会(105)を対象に懇談会を実施、既実施町内会(161)に対しても懇談会及びアンケート調査を実施。</p> <p>協働による冬期歩行環境の改善事業(以下「歩行環境」)として、企業名入り砂箱設置、砂まきキャンペーン実施、コンビニ等による自発的な砂まき活動促進活動を推進。</p>		<p>まちセンは、準備の整った希望地域(3地区)で開始するとともに、自主運営化した地域の「地域活動ビジョン」の実現への支援を目的とした地域交付金制度の創出に向けた検討を実施。</p> <p>再構築は、もみじ台地域で勉強会およびワークショップ等を継続し、真駒内地域では地域特性の分析を実施。</p> <p>冬みちは、新規町内会を対象に懇談会等を120町内会で開催するとともに、19年度実施町内会を対象にアンケート調査を実施(調査票配布40千世帯)。</p> <p>歩行環境は、企業名入り砂箱を6基設置、砂まきキャンペーン、コンビニ(743店舗)等による自発的な砂まき活動を進め、普及啓発を実施。</p>	
21年度(予定)		22年度(予定)	
<p>まちセンは、実施希望地域への説明を行うとともに、希望地域に対し地域活動ビジョン策定支援を実施する。また、20年度に自主運営化した地域に対し、地域ビジョン実現に向けた活動を支援するため、地域交付金を交付する。</p> <p>再構築は、もみじ台地域で勉強会およびワークショップ等を継続し、真駒内地域でも地域団体と意見交換等を実施。地域まちなみづくり制度のあり方については、地域や関係各課と協議。</p> <p>冬みちは、新規町内会を対象に懇談会等を開催(目標80町内会)するとともに、20年度実施町内会を対象にアンケート調査を実施(調査票配布39千世帯)。</p> <p>歩行環境は、企業名入り砂箱設置(目標11基以上)、砂まきキャンペーン、コンビニ等による自発的な砂まき活動促進活動を更に推進。</p>			
施策2	地域の連携によるまちづくりの推進		
19年度(実績)		20年度(実績)	
<p>区民協議会の全区設置に向け(以下「区民協」)、地域代表や有識者等で構成するアドバイザー会議での検討や地域説明を実施。</p> <p>大学との連携促進に向け(以下「大学連携」)、市立大へ委託し事例調査を通じた問題点の抽出や必要となる機能の整理など、連携のあり方や仕組みづくりを研究。</p> <p>学生との連携による地域づくりの促進に向け(以下「学生連携」)、学生まちづくりプレゼンテーション、市立大との連携協働の仕組みづくり(中央区)、地域の大学の特性を生かした事業の実施(東区)、各区の創意工夫と裁量による学生と地域の連携促進支援を実施。</p>		<p>区民協は、10区の代表者による検討会議を開催し、意見交換を実施するとともに、協議会設置に向けた取組に対し支援を実施。</p> <p>大学連携は、「(仮称)大学連携ネットワーク会議」の設置に向け、各大学の意向調査や、フォーラムの開催等を実施。</p> <p>学生連携は、学生まちづくりプレゼンテーションの開催、中央区では市立大と連携し地域団体との交流促進や協働での区実施プランの策定、東区では地域の大学(天使大、大谷大)の特性を生かした事業を実施する他、その他各区において学生と地域の連携支援を積極的に実施。</p>	
21年度(予定)		22年度(予定)	
<p>区民協は、引き続き10区を含めて協議会あり方等の検討を進めるとともに、市民の理解を更に深めるための意見交換の場や学習機会の提供などについて検討。</p> <p>大学連携は、各大学へ働きかけを行い、情報共有等を目的とした「(仮称)大学連携ネットワーク会議」を設置。</p> <p>学生連携は、学生の発想をまちづくりに活かしていくため、学生プレゼンテーションをさらに発展させ、学生が「学生と地域が連携して取り組むまちづくり活動」を地域に提案・発表する場を設ける。その他、中央区、東区での地域の大学との協働事業の継続するほか、各区において学生と地域の連携支援を積極的に実施。</p>			

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その4)

政策目標	2	主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街				
重点課題	1	市民の主体的な地域づくりの支援				
主 な 取 組 内 容						
施策3	市民の主体的な活動推進のための環境づくり					
19年度(実績)			20年度(実績)			
<p>市民まちづくり活動の促進(以下「活動促進」)に向け、条例制定、市民フォーラム開催やアンケート調査等を実施。</p> <p>都心再生協働事業(以下「都心再生」)の推進を図るため、フォーラムを開催するとともに、さまざまな都心のまちづくりへの支援を実施。また、新中心市街地活性化基本計画策定に向けた調査研究を実施。</p> <p>都市計画制度の普及(以下「都市計画」)に向け「まち本」の活用などによる普及活動や「ミニまち」を活用した次世代の育成活動を実施。</p> <p>地域意見を反映し里塚・美しが丘地区センターを建設。</p> <p>地域の縁結び事業(以下「縁結び」)として、全区でまちづくり参加入門教室を開催するとともに、人と人、人と団体を結ぶ仕組みについて調査研究を実施。</p> <p>子どものまちづくりへの参加を促進(以下「子ども参加」)させるため、各区でさまざまな事業を実施(各区計13事業、6千名以上参加)。</p> <p>市民活動団体の資金支援としてさっぽろ元気NPOサポートローン(以下「ローン」)を運営(8件31,500千円融資)。</p> <p>札幌市アイヌ施策推進計画策定(以下「推進計画」)に向けた検討準備を実施。</p> <p>福祉のまち推進事業(以下「福まち」)の充実に向け、活動者を含めた検討会を開催し、活動活性化のヒント集や福まち活動紹介のチラシを作成。</p> <p>わたしたちの児童会館づくり事業(以下「会館づくり」)として、子ども運営委員会を新規に48館で設置(計60館)、北郷児童会館改築子ども検討委員会設置。</p> <p>まちづくりに資する人材を育成するため、さっぽろ市民カレッジ(以下「カレッジ」)を開講(計215講座 4,835人受講)。</p>			<p>活動促進は、市民まちづくり活動促進基本計画策定、寄付を原資とする活動資金助成、札幌青年会議所等と連携してまちづくりフェスタを開催。</p> <p>都心再生は、まちづくり会社設立に向けた意識喚起や参画拡充の取組を実施。また、新中心市街地活性化基本計画策定に向け、素案を作成するとともに、地域関係者と中心市街地活性化推進会議を設立し意見交換を実施。</p> <p>都市計画は、「まち本」活用による普及活動、「ミニまち」を活用した次世代育成、地域への先進的なまちなみづくりの取組事例紹介を実施。</p> <p>縁結びは、参加きっかけイベント及び講座から体験、仲間づくりまでの一環した教室の開催、総合的なまちづくり情報発信やボランティアをつなぐ仕組み検討を実施。</p> <p>子ども参加は、子どもまちづくり手引書を作成するとともに、各区でまちづくり体験の機会を提供。</p> <p>ローンは、融資(9件、42,400千円)、市民活動の運営力向上を目的とした講座等を実施。</p> <p>推進計画は、策定に向けた課題整理とホームページ開設準備等を実施。</p> <p>福まちは、活動支援を行うとともに、活動をステップアップさせるためのアドバイザー派遣、研修等を実施。</p> <p>会館づくりは、子ども運営委員会を全館(155館)に設置。北郷児童会館改修の仕様には、子ども検討委員会等との意見交換を実施。</p> <p>カレッジは、事業の継続実施(市民活動系19講座 産業・ビジネス系12講座 文化・教養系183講座)と市民が主体となって企画運営する「ご近所先生企画講座」を開催。</p>			
21年度(予定)			22年度(予定)			
<p>活動促進は、活動団体への助成の拡大と基金への寄付を確保するため、多くの市民や団体に対しパンフレット等でのPRを積極的に実施。</p> <p>都心再生は、まちづくり会社設立に向けた支援や新中心市街地活性化基本計画の策定を実施。</p> <p>都市計画は、「まち本」活用による普及活動、「ミニまち」を活用した次世代育成、市民参加のきっかけづくりを実施。</p> <p>縁結びは、参加きっかけイベント及び研修の開催、総合的なまちづくり情報ホームページの内容拡充やボランティアをつなぐ仕組みの実証実験事業を実施。</p> <p>子ども参加は、小学校3年生を対象に子どもまちづくり手引書配布するほか、まちづくりセンターを巡るイベント開催を通し、まちづくり体験の機会を提供。</p> <p>ローンは、融資実施の継続と市民活動団体の組織運営力向上を図る講座を継続実施。</p> <p>推進計画は、策定に向けた有識者による検討委員会や計画に対するパブリックコメント等を実施。</p> <p>福まちは、引き続き設置拠点の拡充やステップアップ事業を実施。</p> <p>会館づくりは、新設のミニ児童会館4館に子ども運営委員会を設置し、その活動や交流について支援を実施。</p> <p>カレッジは、ご近所先生企画講座を含め継続実施(実施予定数 市民活動系21講座 産業・ビジネス系10講座 文化・教養系221講座)するほか、学生と交流、連携できる大通高校でも市民カレッジを開催。</p>						
主 な 施 設 、 サ ー ビ ス の 整 備 水 準						
施設(サービス)名	18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(実績)	21年度末(予定)	22年度末(予定)	22年度末(目標)
地区センター	23館	24館(設置)	24館(開設)	24館	24館	24館

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その5)

政策目標	2	主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街
重点課題	1	市民の主体的な地域づくりの支援
評価(成果)		課題
施策1 市民自治の実践による地域づくりの推進		
<p>まちセンは、地域等の意見を取り入れて地域本位の制度を構築し、20年度から3地区で自主運営が開始された。</p> <p>再構築は、もみじ台地域で、ワークショップ等を通じ地域課題に対する具体的取組を検討した結果、住民主体で「地域の茶の間」を試行的に実施し、その後も継続している。</p> <p>冬みちは、20年度までに懇談会等を行った411町内会のうち331町内会では、地域住民自らの行動や地域・事業者・行政の協働など、地域の課題解決に向けた取組が実践された。</p> <p>歩行環境は、昨冬の転倒による救急搬送人数は720件で、19年度と比べ114人増加しているが、冬季間の降雨や気温が高めで凍結が多かった等の要因を考慮すると、想定されるよりも各種啓発や砂まき浸透などで抑制されたと評価できる。</p>	<p>まちセンは、地域の思いと合意形成があって実現可能なため、地域の方々が「運営したい」と思える環境づくりと、継続的かつ安定的に運営を行うための行政支援の強化が必要である。</p> <p>再構築は、都市計画と実態に乖離が見られる地区における土地利用転換への対応が課題である。</p> <p>冬みちは、18年度は暖冬少雪の状況にあり、効果を確かめるまで至らない地域が多かった。また、地域によっては懇談会の出席率が低い地域もあった。</p> <p>歩行環境は、つるつる路面は瞬時に、かつ広範囲に発生することから、行政だけでは対応ができず、市民や企業による砂まきの協力がなにより必要である。</p>	
施策2 地域の連携によるまちづくりの推進		
<p>区民協は、アドバイザー会議の報告等を踏まえ、一定の方向性や課題等の整理を実施。</p> <p>大学連携は、地域貢献活動が評価されない、サテライトキャンパスが経営上の問題から実現されていないなど、20年度の大学へのヒアリング等で課題の抽出・整理ができ、「(仮称)大学連携ネットワーク会議」設置の必要性を共有できた。</p> <p>学生連携は、プレゼンテーションにより学生のまちづくりへの参加意識の高揚が図られた。また、各地域でも、学生の柔軟な発想や行動力が、地域の活性化に寄与している。</p>	<p>区民協は、本市にふさわしく、実効性のある仕組みの構築に向け、継続して市民意見を伺いながらあり方を検討する必要がある。また、協議会設立に向け、中心的な役割が期待される「まちづくり協議会」の活動を更に支援する必要がある。</p> <p>大学連携は、地域のさまざまな課題解決には、各大学が得意分野を活かし、連携することが求められるが、そのマネジメント、コーディネート機能が必要である。</p> <p>学生連携は、卒業しても担い手となるような意識付けや、地域と学生をつなぐ仕組みづくりが必要である。また、優良な提案を実際のまちづくりに活かす仕組みの構築が必要である。</p>	
施策3 市民の主体的な活動推進のための環境づくり		
<p>活動促進は、パブリックコメント等を経て、基本計画を策定。</p> <p>都心再生は、民間主体のまちづくり機運が高まり、地元地権者等が参加した協議会が発足するなど、具体的な活動が行われた。</p> <p>都市計画は、講座参加者延べ数で目標(500人)を超えた896人が参加し、実施後アンケートでも高評価をいただいた。</p> <p>地区センは、区民意見を設計に盛り込み、予算や基準の範囲内で特徴あるセンターを建設することができた。</p> <p>縁結びは、参加入門教室に10区合計で約800名(公開講座含む)が参加し、新たな担い手の参加促進につながった。</p> <p>子ども参加は、10区全体で合計22の区や地域の特性を活かした事業が実施され、また、子どもまちづくり手引書を小学3年生を対象に配布できた。</p> <p>ローンは、本市等から委託等を受けた団体が入金までのつなぎとして融資を受けたり、設備投資融資を受けた団体が事業を拡大するなどの成果がでている。</p> <p>推進計画は、策定にあたって必要となる手続、組織、事務処理方法等の検討を行った。</p> <p>福まちは、地域住民の主体的な活動の支援により、地域における支え合い活動の活性化を図った。</p> <p>会館づくりは、全館に子ども運営委員会が設置されたことから、子どもたちの情報交換や交流の機会が広がっている。</p> <p>カレッジは、学んだ成果を活かすしくみづくりを進めることにより、市民の主体的な社会参画の意識が醸成され、市民主体の活力あるまちづくりが促進された。</p>	<p>活動促進は、原資が寄付となっている助成制度では、資金確保に向けた積極的な広報が必要である。</p> <p>都心再生は、民間主体のまちづくりを進めるうえで、担い手の不足と財源不足が課題である。</p> <p>都市計画は、活動の担い手となる人材の発掘、育成等まちなみづくりへの市民参加のきっかけづくりが必要である。</p> <p>縁結びは、新たな担い手の育成には、参加に必要な情報を総合的に発信するとともに、団体や個人と適切に結びつける仕組みの構築が必要である。また、団体、個人の需要を的確に結びつける調整役の育成が必要である。</p> <p>子ども参加は、子どものときからまちづくりへの関心を高め、自治意識の醸成を図ることによって将来の活動の担い手を育成していくことが必要である。</p> <p>ローンは、融資に際して活動実績や資金計画書の提出などの条件があり、小規模な団体は融資を受けにくい状況にありこの点が課題と言える。</p> <p>推進計画は、有識者懇談会、検討部会の組織・委員等の決定等が必要である。</p> <p>福まちは、担い手の発掘、地域課題解決に向けた取組への支援等により、地域の福祉力を引き出す必要がある。</p> <p>会館づくりは、連帯感や責任感、実施の達成感や成果を、児童が実感し、次回も意欲的に取り組んだり、構成メンバー以外への伝達できる仕組みが必要である。</p> <p>カレッジは、市民が主体的に学んだ成果をまちづくり活動に活かすことができる仕組みづくりを構築する必要がある。</p>	
今後の重点取組		
<p>地域のまちづくりの拠点であるまちづくりセンターについては、地域の特性や思いが生かされる市民自治の実践の場として、不安なく継続的安定的に運営できるよう積極的に支援しながら、地域自主運営化を推進していく。</p> <p>冬の暮らしを豊かにするため、地域住民自らの行動や地域・事業者・行政の協働など、地域課題解決に向けた取組の実践を促進する懇談会等を新たな町内会で実施していく。</p> <p>区民が区の課題を共有し、その解決に向けた活動を実践していく「区民協議会」のあり方について、札幌市にふさわしい実効性のある仕組みづくりを進める。</p> <p>市民まちづくり活動の活性化に向け、新たな担い手の発掘・育成に加え、活動への参加を希望する市民と参加者を求める団体や個人などを適切につなぐ仕組みをモデル検証し、着実に活動まで繋げる取組を展開する。</p> <p>市民まちづくり活動促進基金による財政支援を拡充するため、市民活動団体への周知、寄付の募集を積極的に進める。その他、市民活動団体への情報提供や場の充実、人材育成など、市民まちづくり活動を促進する施策を総合的に展開する。</p>		

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その6)

政策目標	2	主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街
重点課題	1	市民の主体的な地域づくりの支援

成果指標等の動向

<p>項目1 まちづくり活動に参加経験のある人の割合(単位:%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>41.1</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>38.1</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>31.0</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>	年度	割合(%)	H18 (現状値)	41.1	H19	38.1	H20	31.0	H22 (目標値)	60	<p>項目2 コミュニティ組織の活動が盛んに行われていると思う割合(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>	年度	割合(%)	H18 (現状値)	58	H19	54	H20	54	H22 (目標値)	70
年度	割合(%)																				
H18 (現状値)	41.1																				
H19	38.1																				
H20	31.0																				
H22 (目標値)	60																				
年度	割合(%)																				
H18 (現状値)	58																				
H19	54																				
H20	54																				
H22 (目標値)	70																				
<p>項目3 NPO認証法人数(札幌市に主たる事務所をおくもの)累計(単位:団体)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>累計(団体)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>569</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>630</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>688</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table>	年度	累計(団体)	H18 (現状値)	569	H19	630	H20	688	H22 (目標値)	900	<p>項目4 地域と創る冬みち事業に参画した町内会数(単位:町内会)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>町内会数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18 (現状値)</td> <td>186</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>291</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>411</td> </tr> <tr> <td>H22 (目標値)</td> <td>560</td> </tr> </tbody> </table>	年度	町内会数	H18 (現状値)	186	H19	291	H20	411	H22 (目標値)	560
年度	累計(団体)																				
H18 (現状値)	569																				
H19	630																				
H20	688																				
H22 (目標値)	900																				
年度	町内会数																				
H18 (現状値)	186																				
H19	291																				
H20	411																				
H22 (目標値)	560																				
<p>項目5</p>	<p>項目6</p>																				

成果指標等から見た重点課題の評価

まちづくりに参加経験のある市民の割合が低下傾向にあることから、幅広い市民を対象とした活動の担い手を育成・発掘する施策を推進し、更なる参加促進を図るため、新たな担い手の発掘・育成に加え、実際の地域活動への参加を希望する市民と参加者を求める団体や個人などを適切につなぐ仕組みづくりなどを早急に行っていく必要があるものと考えられる。

50%を超える市民が地域のコミュニティ活動が盛んに行われていると思っているように、地域のまちづくり活動は引き続き活発に行われているが、市民自治による地域づくりを更に進めるためには、これらの活動に対する支援をより積極的に行っていく必要があると考えられる。

NPO認証法人数はこれまで同様増加しており、まちづくり活動の担い手の多様化がより一層進展していることが窺える。

雪対策の実情等について理解していただく懇談会等については、対象となる地域の約20%である411町内会で実施済みであり、地域自らの行動や地域、事業者、行政の協働による地域課題解決に向けた実践活動が拡大している。これらの取り組みを更に全市に広げていくため、実施済み町内会の隣接した町内会と連携するなど参加町内会を更に拡大していくことが必要であると考えられる。